



《共通事項》

◆定期的なかん水について

晴天が5～6日(砂を含む土は4日)続いたら20～30mm程度のかん水を行なう。
10aに1mmのかん水をするには水1,000ℓが必要です。樹冠下に集中して行う。

《なし》

◆当面の管理について

1. 南水栽培園は、防鳥ネットの設置を行う。(収穫1ヶ月前)

◆第12回薬剤散布について

1. 散布時期:8月20日(水)～24日(日) 実際散布日記入 月 日
2. 調 合 量:水100ℓ 当り

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展 着 剤	10mℓ	—	—
アーデントフロアブル	50mℓ		前日
キノドー顆粒水和剤	100g	黒斑病・輪紋病	3日

3. 散 布 量:10a当り⇒棚栽培400ℓ／立木栽培450ℓ以上

4. 留意事項

- ①収穫期の西洋ナシ「オーロラ」は、収穫終了後実施する。
- ②他の作物にかからないよう十分注意し散布する。
- ③アーデントフロアブルに代えてイカズチWDG1,500 倍(水 100ℓ当り 66g)を使用してもよい。

◆西洋梨「オーロラ」荷受について

荷受日	荷受時間	荷受場所
8月20日(水)	午前 9:00まで	西部流通センター・松代総合センター

1. 荷受方法

- ①コンテナは、各集荷場所(各流通センター)のりんご用コンテナを使用する。
- ②コンテナには新聞紙等を敷いて、押し傷をつけないように中小玉は2段詰め、大玉は1段詰めにする。
(押し傷防止のため)。また、コードNo.を記入した用紙を入れる。(コンテナ毎に1枚)

◆なし贈答用ダンボール(5kg)注文について

贈答用のダンボールを必要な方は、8月29日(金)までに各流通センター・共選所へ申込下さい。

《ブルー・すもも》

◆果樹シンクイムシ類について

長野県より東北信地域に「果樹シンクイムシ類の多発の恐れあり」と発表された。

モモシンクイガは、第1世代成虫の飛来は8月上旬がピークで、以降も連続して飛来し、幼虫の発生も連続するため、注意が必要。

また、スモモヒメシンクイは、第2世代成虫の飛来のピークとなる8月上旬以降は第3世代まで比較的連続して発生しやすいため、9月中下旬頃まで注意が必要。

薬剤防除は防除間隔や散布ムラに注意すると共に、被害果は速やかに適切な処分も重要。

◆9月中旬以降収穫の特別薬剤散布について

- 散布時期:8月22日(金)～26日(火) 実際散布日記入 月 日
- 調 合 量: 水100ℓ 当り ※混用順に記載。 ※収穫中の品種に飛散しないよう十分注意する。

農薬名	使用量	対象病虫害	収穫前
(展着剤 まくぴか)	10mℓ	機能性展着剤	—
アンビルフロアブル	100mℓ	灰星病	前日
㊟モスピラン顆粒水溶剤	50g	シンクイムシ類	前日

- 散布量:10a当り⇒400ℓ
- 留意事項

①収穫まで間が空く品種は、特別薬剤散布を行う。

②シンクイムシ類・灰星病の発生が多く、薬液をしっかりと付着させたい場合は、均一に付着しやすく、乾きが早まり、液だまりが減少する展着剤の「まくぴか」10,000倍(水 100ℓ当り 10mℓ)を使用する。

◆収穫前薬剤散布について ※収穫直前の品種に行う。

収穫前の降雨によっては、腐敗果の発生が増加するため、特に収穫前の防除を徹底する。

- 散布時期:収穫開始2日前 実際散布日記入 月 日
- 調 合 量: 水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病虫害	収穫前
オンリーワンフロアブル	50mℓ	灰星病	前日
(㊟スカウトフロアブル)	50mℓ	シンクイムシ類	前日

- 散布量:10a当り⇒350ℓ
- 留意事項

①「収穫前日まで」となっている農薬は、収穫24時間前までに散布が終了する事を意味する。

②シンクイムシ類の発生が心配される園は、スカウトフロアブル 2,000 倍を加用散布する。スカウトフロアブルに代えて、ディアナWDG5,000 倍(水 100ℓ当り 20g/収穫前日)を使用してもよい。

◆中晩生種の収穫及び出荷講習会開催について

下記日程により、開催致しますので、ご参加下さい

開催日	曜	開催時間	開催場所	担当
8月11日	月	午前11:00	西部流通センター	徳武
			川中島共選所	松橋
			若穂果実流通センター	寺澤

※更北地区は、地区担当果樹技術員まで。

※講習会以降が出荷始めではありません。適熟になったものは、講習会以前でも荷受致します。
また、未熟な場合は、適熟になってからご出荷下さい。

◆プルーン出荷上の留意点について

下記内容の問題点が毎年出ている。出荷時に注意して下さい。

- ①農薬による汚れのある果実が見られるのでふきとって出荷する。
- ②果実にシンクイムシ、灰星病のものが散見される。⇒ 厳正に荷造りし混入しない
- ③過熟果・未熟果の出荷がある。(農家間の差が意外と大きい)
- ④玉の大きさにムラがある。(同じ大きさに 420g 以上になるように詰める)
- ⑤パック重不足がある。 ⑥異品種の混入がある。 ⑦返品されたものを取りに来ない方がいる。
- ⑧市場に出荷した生産物に被害果が混入し、出荷者が確定できるクレームがあった場合は、例年と同様にその出荷者のクレームとなった数量の精算をゼロとすることになっております。荷造りに際しても厳重に選果して出荷をお願いします。